

東日本大震災現地NPO応援基金

大和証券フェニックスジャパン・プログラム2020

計画名：みんなのひろば事務局整備プロジェクト2020

団体名：特定非営利活動法人みんなのひろば

発表者：理事長 齋藤大介

「不登校であっても、障がいのある子どもでも、夢を持って、安心して過ごすことのできる地域社会づくりに寄与すること」

■フリースクールみんなのひろば

■みんなのひろば高等部

■放課後等デイサービスほーかごひろば

■みんなのひろば相談室そーだんひろば

■2019年助成での育成計画■

- ①育成対象者（齋藤智子）を法人事務局員として活躍できるように人材育成を図る
 - ②当法人の事務局のあり方を検討して整備を進める
- ・ ビジネス会計検定資格取得
 - ・ 外部研修への参加
 - ・ 県内、県外の施設見学
 - ・ 現場実習
 - ・ 理事会での報告会

東日本大震災現地NPO応援基金 大和証券フェニックスジャパン・プログラム2020

■2019年助成での育成計画■

①法人事務局員として活躍できるような人材育成を図る

- ・ 3月に受験したビジネス会計検定は不合格（9月受験に向けて通信教育継続中）
- ・ 外部研修への参加、施設見学、現場実習などを経験し、本人の気づきや学びが多い

②当法人の事務局のあり方を検討して整備を進める

- ・ 3名体制の事務局整備に向けてミーティング
- ・ 各業務のマニュアル作り
- ・ 法人規程の見直し

「長く勤められる法人になるために私が
できることをやりたい」

「私には簿記の知識が絶対に必要！」

「この事業は今のひろばでは難しいけ
ど、その分違う形で何かをやらなきゃ」

「この研修は私一人で参加したのはもっ
たいない！！」

「やらされる研修、行かされる研修」



「自分が学びたい研修、必要と感じる研修」

■2020年助成に応募した育成計画■

＜継続助成の必要性＞

事務局の整備 → 事務局員 → 事務局長

- ・ 自分のこれからの仕事（立場）のイメージ
- ・ 必要とされる知識や経験
- ・ 一事業の職員という立場でなく法人全体を見る
- ・ 受け身でなく自主的な研修

東日本大震災現地NPO応援基金 大和証券フェニックスジャパン・プログラム2020

■2020年助成に応募した育成計画■

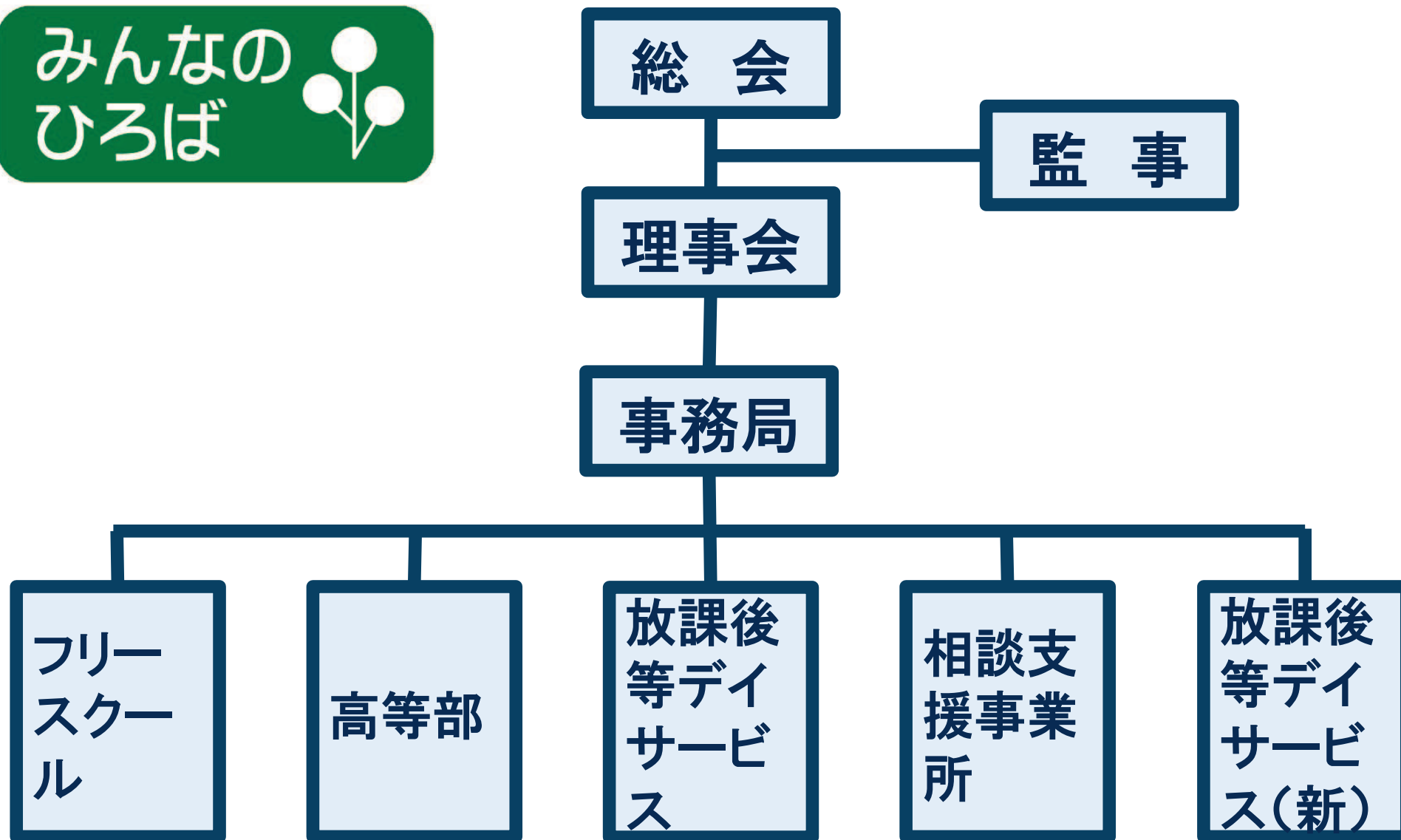
＜育成の方法＞

1年のスタート時にスーパーバイザーと育成対象者が一緒に研修計画書を作成する

- ・ 簿記3級の通信教育、受験
- ・ 外部研修への参加
- ・ 視察
- ・ 理事会での報告会

＜助成終了時＞ 法人事務局員兼児童指導員

東日本大震災現地NPO応援基金
大和証券フェニックスジャパン・プログラム2020



大和証券フェニックスジャパン・ プログラム2020

■ 計 画 名 ■

みんなのひろば事務局整備プロジェクト2020

■ 育成対象者 ■

児童指導員兼事務員 齋藤智子（リセン）

■ スーパーバイザー ■

理事長 齋藤大介（サイトイ）

「団体概要」

2004年 児童福祉、児童心理に携わるメンバーが中心となり、福島県伊達市において不登校で苦しんでいる子どもとその保護者をサポートするためフリースクールを開設するためにNPO法人として設立

2006年 フリースクールみんなのひろば 開設

2011年 東日本大震災

2017年 みんなのひろば高等部 開設

同 年 放課後等デイサービスほーかごひろば 開所

2019年 みんなのひろば相談室

そーだんひろば 開所

不登校であっても、障がいのある子どもでも
夢を持って安心して育つことのできる
社会づくりに寄与すること



「目指していること」

2カ年計画により

①育成対象者には将来の法人事務局長として活躍してもらうため研修を進める。

②事務局を独立化し、業務をマニュアル化し、当法人を総会、理事会、事務局、各事業所といった形で組織を再編成できるように整備を進めていく。

「育成の目的」

組織体制を整えた上で事務局を整備し、育成対象者には「事務局長」として活躍してもらうため、新規助成時においては、「事務局の必要性」を考えてもらいながら、本人のスキルアップに焦点をあてて育成を進めてきた。継続助成時においては、「事務局長」の役割として考えられる、理事長と共に財務を見られること、安定した事業運営や予算管理ができること、人材戦略・働き甲斐のある組織作りなど、当法人のミッション・ビジョンを達成するため、業務執行責任者としての責務を彼女自身が感じ、学び、考えることができる、受け身ではなく自主的な研修を進めていく。

「達成目標」

- ① 日商簿記 3 級資格取得を目指して通信教育、受験を行う。
- ② 財務会計やマネジメントに関する外部研修に参加する。(全 4 回)
- ③ 県外のNPOの事務局のあり方を知るために視察を行う。(全 2 回)
- ④ 一年を通して学んだことを理事会において報告会としてプレゼンする。(全 1 回)
- ⑤ 3 名体制での当法人事務局を整備し、組織体制図を新たに作成する。

「1年目の目標と教訓」

- ①ビジネス会計検定 ②外部研修への参加
③県内視察 ④県外視察 ⑤現場実習

- 自分にどのような学びが必要か気づいた
- 事務局の必要性や運営について理解できてきた
- 法人全体としてやらなければならないことも分かってきた（安定した経営、業務のマニュアル化とスタッフの役割分担など）

「2年目の育成方法」

10月にスーパーバイザーと育成対象者と一緒になって「研修計画書」をたてる

- ①日商簿記3級受験に向けて通信教育、受験
- ②外部研修への参加
- ③県外視察
- ④理事会で報告会
- ⑤法人組織図を作成

「やらされる研修」から「やりたい研修」へ

大和証券フェニックスジャパン・ プログラム2020

■ 計 画 名 ■

みんなのひろば事務局整備プロジェクト2020

■ 育成対象者 ■

児童指導員兼事務員 齋藤智子（リセン）

■ スーパーバイザー ■

理事長 齋藤大介（サイトイ）

「団体概要」

2004年 児童福祉、児童心理に携わるメンバーが中心となり、福島県伊達市において不登校で苦しんでいる子どもとその保護者をサポートするためフリースクールを開設するためにNPO法人として設立

2006年 フリースクールみんなのひろば 開設

2011年 東日本大震災

2017年 みんなのひろば高等部 開設

同 年 放課後等デイサービスほーかごひろば 開所

2019年 みんなのひろば相談室

そーだんひろば 開所

不登校であっても、障がいのある子どもでも
夢を持って安心して育つことのできる
社会づくりに寄与すること



「目指していること」

2カ年計画により

①育成対象者には将来の法人事務局長として活躍してもらうため研修を進める。

②事務局を独立化し、業務をマニュアル化し、当法人を総会、理事会、事務局、各事業所といった形で組織を再編成できるように整備を進めていく。

「育成の目的」

組織体制を整えた上で事務局を整備し、育成対象者には「事務局長」として活躍してもらうため、新規助成時においては、「事務局の必要性」を考えてもらいながら、本人のスキルアップに焦点をあてて育成を進めてきた。継続助成時においては、「事務局長」の役割として考えられる、理事長と共に財務を見られること、安定した事業運営や予算管理ができること、人材戦略・働き甲斐のある組織作りなど、当法人のミッション・ビジョンを達成するため、業務執行責任者としての責務を彼女自身が感じ、学び、考えることができる、受け身ではなく自主的な研修を進めていく。

「育成事業の目標（優先順）」

- ① 日商簿記 3 級資格取得を目指して通信教育、受験を行う。
- ② 財務会計やマネジメントに関する外部研修に参加する。（全 4 回）
- ③ 県外のNPOの事務局のあり方を知るために視察を行う。（全 2 回）
- ④ 一年を通して学んだことを理事会において報告会としてプレゼンする。（全 1 回）
- ⑤ 3 名体制での当法人事務局を整備し、組織体制図を新たに作成する。

「進捗状況」

①日商簿記

通信教育により学習を進めている
まだまだ分からないことが多い
後期にはオンライン受験を予定している

②外部研修

放デイの報酬改定の外部研修に参加
全体の流れを考えながら聞くことができた
後期はNPO会計・マネジメント
についての外部研修へ参加予定

「進捗状況」

③ 県外視察

視察先の選定を行っている

当法人と同規模のNPO法人を見てくる予定

法人事務局のあり方を学ぶ

④ 理事会での報告会

一年を通して学んだことを理事に報告

これまでの研修の総まとめとしてプレゼン

資料も自分で作る

「進捗状況」

⑤法人事務局の整備

規程の見直し、業務マニュアルの整備
放デイ業務ICT化に向けて体制づくり

「課題・悩み・質問」

コロナの状況と視察先の選定
簿記合格するのか不安です

外部研修や視察先など情報があったら
教えてください